

授業名	東南アジア言語概論III	授業形態	対面
Name of Course	INTRODUCTION TO SOUTHEAST ASIAN LINGUISTICS III		
担当教員氏名	David MOELJADI		
期間・曜日・時限	2026年度前期	火曜4限	
配当学年	2年		
単位数	2.0単位		
科目ナンバリング	LIN296		

使用言語/Language	日本語
履修条件/Course Requirements	
授業の目的/Course Descriptions & Objectives	
①授業のテーマと概要/Course Theme and Outline	<p>東南アジア言語概論IIIでは、東南アジア島嶼部（インドネシア、マレーシア、フィリピン）の諸言語の特徴を概観し、日本語やその他の言語と比較することによって、言語の多様性と共通性についての認識を得る。</p> <p>また、東南アジア島嶼部の言語の多様性、歴史、文化の特質に対する理解を深め、東南アジアのダイナミズムに目を向け、広い視野で共生のあり方を考察する力、そして平和と繁栄に貢献する力を養い、国際社会に貢献しうる自立した人材を養成することを目指す。</p>
②授業の目的と到達目標/Objectives and Goals	本講義では東南アジア島嶼部の諸言語について言語学の観点から考察していく。東南アジア島嶼部の諸言語の特徴を知り、具体例を参照しながら考察し、理解していく。
③授業形態/Course Format	対面授業
④準備学習とその時間/Preparation Study and Amount of Time	<p>（下記は学生便覧の記載内容です）</p> <p>1単位は原則として、教室の内外合わせて45時間の学修に対して与えられます(教室内の授業時間+自学自習の時間)。したがって、1週につき教室内外3時間・15週をもって1単位とします。</p> <p>ただし、本学においては授業時間割の1/2時限(45分)を1時間とみなし、1時限は2時間とみなします。</p> <p>単位は科目の性質によって次のように分類されます。</p> <p>学修時間：45時間(毎週3みなし時間(135分)×15週)</p> <p>▼外国語科目※/基盤教育科目/教養科目/研究科目/演習科目の場合の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業（教室内）：15時間(毎週1みなし時間(45分)×15週) ・自学自習（教室外）：30時間(毎週2みなし時間(90分)×15週) <p>※時間数と単位数の計算について本学の外国語科目の中には講義科目の扱いを受けるものがあります。</p> <p>▼外国語科目(トレーニング科目※)/選択外国語科目/体育・スポーツの場合の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業（教室内）：30時間(毎週2みなし時間(30分)×15週) ・自学自習（教室外）：15時間(毎週1みなし時間(45分)×15週) <p>※トレーニング科目とは語学の訓練や実技を中心に行う科目を言います。</p>
英語抄訳/Abridged Translation in English	<p>This course will provide students with the elementary knowledge to study linguistics of Insular Southeast Asian languages (languages in Indonesia, Malaysia, Philippines etc.).</p> <p>Students will deepen their understanding of the linguistic diversity, history, and cultural characteristics of the insular Southeast Asia, in order to become richly educated individuals who can contribute to international society.</p> <p>The aim of this course is for students to learn basic concepts in linguistics and examine various Insular Southeast Asian languages.</p>

サブタイトル/Subtitle	東南アジア島嶼部言語学入門
授業の計画/Lecture Topics	
第1回	イントロダクション：オーストロネシア語族
第2回	マレー・インドネシア語の歴史
第3回	東南アジア島嶼部の言語プロフィール
第4回	音声学、音韻論
第5回	形態論

第6回	統語論（名詞句）
第7回	統語論（動詞句）
第8回	意味論、語用論
第9回	認知言語学
第10回	コーパス言語学
第11回	言語接触と方言
第12回	フィリピンの言語
第13回	マレーシア、シンガポール、ブルネイの言語（1）
第14回	マレーシア、シンガポール、ブルネイの言語（2）、言語政策
第15回	期末試験と解説

テキスト/Textbooks

参考書/Reference Books

書名	著者	出版社	ISBN	備考
The Austronesian Languages of Asia and Madagascar	K. Alexander Adelaar	Routledge	2005	9780700712861, 0700712860
The Oxford Guide to the Malayo-polynesian Languages of South	Adelaar and Schapper	Oxford Univ Pr	2024	019880735X

成績評価の方法/Grading	授業への貢献度・課題への取り組み・毎回のリアクションペーパー(50%)、期末試験結果（50%）から総合的に評価。
その他/Additional Comments	授業で取り上げる項目は、学習の状況、理解度に応じて多少変わることもある。
注意事項/Instructions to Students	
参考URL/Reference	
実務経験/Work Experience	